



佐々木中学校だより

E-mail sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

電話 0254 (27) 2505

教育目標

よく考え、進んで
実践する生徒

未来を切り拓くたくましい力を育む。

『友達と 並んで歩く きつい坂 思い返せば 一瞬だった』(2年生女子)

『爽やかに 光り輝く 木を眺め 付いていくのは 友の背中』(2年生男子)

『新緑の 山道ぬけて ゴールした』(1年生男子)

『手をつなぎ 若葉の道に 歌ひびく』(1年生女子)

5月12日(金)に行われたウォークラリーでは、生徒たちが17のグループに分かれ、それぞれのグループが励まし合いながら歩きました。上の4作は、ウォークラリー後の〈日本語〉の授業の時間に、2年生や1年生がつくった短歌や俳句です。

滝谷森林公園の少し手前でバスを降り、そこから午前9時30分にスタートしました。スタート地点の周囲は、何匹ものサルを見つけることができるような人里を離れた地点でした。出発地点からゴールの佐々木中学校までは約22キロの行程。最も早いグループは午後1時20分に学校に到着しました。一番最後にゴールしたグループの到着時刻は午後4時22分でした。最後のグループの到着時刻を昨年度のそれと比較しても、30分も早い到着タイムでした。最初のグループから最後のグループまで、生徒たちがケガひとつ負わずに、笑顔でゴールできたことが何よりもすばらしい成果でした。

当日はPTAの方々から、信号のない交差点や車の通りの激しい横断歩道付近での交通安全指導などのお手伝いをいただき、生徒たちも安心してウォークラリーを楽しむことができました。また、3年生の保護者の方からは塩あめを寄贈していただき、暑い日差しを浴びる全行程を、生徒たちは塩あめで塩分補給をしながら、それぞれのペースで元気に歩き通すことができました。

『夜のピクニック』(恩田陸著 新潮文庫)(学生たちが長距離を完歩することを目指す学校行事を扱った小説です。)という作品に次のような1文があります。

「時間の感覚というのは、本当に不思議だ。あとで振り返ると一瞬なのに、その時はこんなにも長い。1メートル歩くだけでも泣きたくなるのに、あんなに長い距離の移動が全部つながっていて、同じ1分1秒の連続だったということが信じられない。(中略)ついこの間入ったばかりのような気がする学校生活や、もしかしてこの先の生活だって、そんな〈信じられないこと〉の繰り返しかもしれない。」

22キロに及ぶ佐々木中学校ウォークラリーは決して楽しいだけの行程ではないはずですが、生徒たちは目標をもって歩き始め、行程途上では足の痛みや体の疲れに耐え、最後に笑顔でゴールすることができました。この経験を今後の学校生活の大きな自信としてほしいと思います。そして、今回の経験を、今後いろいろな困難に出会ったときに、それを克服し、自らの未来を切り拓いていくことのできるたくましい力に変えていってくれることと信じています。



修学旅行での商人体験を通してのキャリア教育

4月19日（水）から21日（金）までの3日間の修学旅行行程の1日目の昼食後に、大阪の京橋商店街において、『商人体験』を行いました。生徒たちは旅行前に、大阪で販売する「お米」や「笹だんご」の魅力を紹介するチラシなどをしっかり準備し、大きな期待を胸にもち1日目の商人体験に臨みました。

3年男子W

大阪の人たちはいろんな人がいて、喜んで受け取ってくれる人もいれば、中には全く見向きもしない人もいたけど、商人体験は面白かった。

3年男子I

思っていた以上に早く売り切れてしまい、商人体験が終わったので驚いた。商人体験を通じて大阪の人とたくさんお話ができてよかった。大阪弁があまり聞けなかった。

3年女子I

販売を始める前から行列ができていたり、決められた数以上を買おうとしている人がいっぱいいたので、新潟のお米は、関西でもおいしいと評判なのかな〜と嬉しく思いました。また、大阪の人はもっと大阪弁でガミガミ言うのかなと思っていましたが、とても優しく、新潟のお米や笹だんごを売るのが楽しかったです。

3年男子Y

通行人の人たちに声をかけても、無視されているかのように通り過ぎていく人が多かったけど、がんばって声をかけ続けることができてと思います。けれど、明るく受け答えしてくれる人もたくさんいて、楽しかったです。

3年男子T

商人体験では「佐々木中学校」ののぼり旗をもって販売場所の近くを歩き回り、宣伝に努めました。すこしはづかしかったですが、持って行ったお米と笹だんごが完売できてよかった。

3年女子S

初めて物を売るという体験をしました。私はチラシを配っていて、通行する人に話しかけたとき、笑顔で受け答えをしてくれて、すぐにお米を買ってくれてよかったです。でも逆に、道を歩く人にチラシを受け取ってもらえなかったときには、たまに見かける、ティッシュやチラシを配っている人の気持ちが分かりました。2時間をかけて売る予定が、35分という短い時間で売り切れてびっくりしました



3年男子 I

商人体験では、物を売ったり、呼びかけたりするのが大変でした。どんなに大きな声を出しても、チラシを配りに行っても、無視されたり、「大丈夫です。」と言われたりすることがあり、辛かったです。だけど、「どこに売っているんだい。」「米、買ったよ。」などと言ってくれる人がいてうれしかったし、またがんばろうと思いました。商売している人の大変さを垣ひった1日でした。

3年女子 I

2時間の予定の商人体験だったのが、約35分で売り終わって、とてもうれしかったです。中には、「10個欲しい。」と言ってくださる方もいたし、「新潟が大好き!」と言ってくださる方もいました。ぜひたくさんの人に新潟に来てもらいたいし、新潟と大阪のお米の違いを食べ比べていただきたいです。商人体験はとてもよい経験になりました。

3年女子 H

はじめはチラシを配ることや声をかけることにとても緊張してしまい、通行する人たちにチラシを渡すことが全然できませんでした。後半は、声を出しながら、商店街の中を歩いて回りました。お米も笹だんごもどちらも35分で売ることができたので、とてもうれしかったです。ティッシュ配りやチラシ配りをしている人たちの仕事の大切さが分かりました。

3年女子 K

商人体験は楽しかったです。私は主に、チラシ配りをしました。最初はあまり受け取ってもらえなくて、話しかけてもすぐ断られて、心が折れそうになりました。でも、後半になると、声も出せるようになってきて、前半よりも積極的に話しかけられるようになりました。とても優しい人も多くて、笑顔で受け取ってくれる人がいたり、積極的に話しかけてくれる人がいたりして、とても嬉しかったです。そして、販売を始めてから35分で完売したと聞いて、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。改めて、大阪の人たちは優しいなと感じました。

3年男子 Y

商人体験をやってみて、あまり経験できないことだったので、最初から全力で声かけをし、お客様を呼ぶことができたのですが、なかなか興味をもって聞いてくれる人がいなかったの、本当に店を営んでいるみたいな気持ちになりました。でも、大阪の人はノリの良い人が多く、優しく、温かかったです。

.....

修学旅行前には、3年生保護者の伊藤さんからお米についての講話をいただき、ご自身が作ったお米を修学旅行での生徒たちの商人体験用として、用意していただきました。

3年男子 Y

あまり体験ができないお米の袋詰めはとても楽しかったです。お米を触って、すごく透明で、きらきらしていて、おいしそうだと思って、とても食べたかったです。



新潟のお米売ってます!!

新潟県で有名なコシヒカリというお米です。

コシヒカリとは?



特徴: 程良いモチモチ感で甘みが感じられ香りのバランスがとてもよいお米です。リヤと粘りが強くおかずなしで"ご飯だけ"でいただけると有名です!!

おいしい理由: 新発田市の加治川という地域のきれいな水と農薬をできる限り使わず育てたからです。

安心・安全: 農薬の使用をできるだけ少なくし病害虫の発生ピークに出穂期が重ならないように工夫しています。また一般的な栽培方法から農薬を50%以下にしたお米です。

このコシヒカリの食味値はなんと80点!! お米のランクとして最高の特Aランクです。標準値は60~65点とされているのでそれを大きく上回っています!!



仲間と一緒に歩ききったウォークラリー

助け合い、励まし合ったウォークラリー 1年男子I

みんなの気持ちが伝わったのか、当日はとても歩きやすい天候でした。中学生となって初めてのウォークラリーでがんばったことを2つ書きます。

1つ目は、スタートからゴールまでの22キロのほとん道を走りきったことです。最初は鈴木伸先生について行こうとしましたが、噂に聞いていた通り、伸先生の走るペースはとても速くて、ついていけませんでした。それで、自分たちのペースで走ろうと決めて、みんなで走りました。全体の順位では3位でしたが、1学年では1位だったので良かったです。

2つ目は、みんなとの友情をより深められたことです。グループのみんなのペースがばらばらでした。先頭を走る人と最後尾との差は50メートル以上離れているときもありました。でも、ぼくは声を出し続けました。みんなで助け合い、励まし合ったので、ゴールできました。決して1人ではゴールできなかったのも、とてもよいウォークラリーだったと思います。

キツかったウォークラリー 1年女子N

ウォークラリーを終えて、私は、こんなにキツイとは思いませんでした。約22キロのコースの最初は、森の中でサルなどがいてかわいかったですが、スタートからゴールまでのコースは険しい道でした。

休憩地点でお弁当を食べる時には、みんなでレジャーシートをしき、楽しく食べました。でも、楽しかった時間はあっという間に終わりました。

前半はあまりしゃべらずに歩いていましたが、後半はみんなと話しながら歩きました。後半の方が時間が速く過ぎたと思いました。みんなと話をすると、あっという間に時間が過ぎると実感しました。

ゴール手前3キロくらいのところの、イオンの近くの上り下りがある道路がキツかったです。でも、中学校に着いた時はまだ余裕があったので、次回のウォークラリーは絶対に走ります。男子を越せるようにがんばります。

一番楽しかった思い出 1年男子S

ぼくは当日までは、ウォークラリーの次の日に、筋肉痛になるくらいだと思っていました。ですが、実際は、歩いたその日から痛くなりました。

最初はちょっと楽しみだったけど、12キロくらい歩いたら、ウォークラリーのつらさがわかりました。途中で走っていたら、ヘビがいたのを分からずに踏んでしまいました。ちょっといやな思い出ができてしまいました。

でも、悪いことだけじゃありません。みんなで歌を歌いながら歩いたりしました。校歌を歌ったり、みんなが知っていそうな曲を歌いました。ぼくが



よっと知らない歌もありましたが、楽しかったです。歌を歌っていたら、ちょうど森谷教頭先生がいて、「すてきだね。そういう人たち好きだな。」と言ってくれました。それで、みんなで、たぶん5キロくらい歩いて歌いました。ぼくはそれが一番楽しかったです。

歩き切った最初のウォークラリー 1年女子S

私は、このウォークラリーを「仲間と協力し助け合いながら歩き切った1年生最初の行事」として、思い出に残しました。仲間と協力し助け合いながら歩ききったことで、さらに絆が深まりました。たくさんしゃべったりもしたので、相手の、いままで知らなかった事も知ることができました。

ゴールしたときには、足も痛くて、思うように動きませんでした。仲間が声をかけてくれたおかげで、ゴールすることができました。改めて振り返ってみると、仲間がいたからゴールできたんだと思いました。

これからも、今回のウォークラリーで感じたような思いを、仲間と一緒に感じていきたいです。

来年もがんばります。 2年女子S

私は、このウォークラリーで女子で1位になることができて、とてもうれしかったです。スタートする時は、午後2時半までにはゴールの中学校に着こうと思ったけど、途中でつかれてしまって、最初の方は走ってたけど、途中から歩くようになってしまいました。歩いている途中に、教育実習の阿部先生が来て、阿部先生と色々な話をすることができて楽しかったです。ずっと歩いたら、前にも後ろにも誰もいなくて、道に迷ったと思ったけど、多分まっすぐ行けばたどりつくよね」と友達と話して、勘であるいたらお弁当を食べるところまでたどり着くことができてよかったです。

一番歩くのがつらかったところは、坂道です。特に下り道は、足はつかれているのに、勝手に足が進むのでつらかったです。中学校が見えてきたら、もうすぐ着くんだなと思いました。ゴールの中学校に着くと、足の裏が痛すぎてヤバかったです。約22キロを完歩することができてよかったです。来年もがんばります。



足ものども痛くなったウォークラリー 2年男子I

今回で2回目のウォークラリーに、ぼくは去年の反省を踏まえて挑みました。

ぼくはウォークラリーで動物に会えることにとてもワクワクしていました。スタート地点に向かうバスの中で、なんと6～7匹の猿に会えました。とても興奮しました。ウォークラリーがスタートし、僕は足が痛いけど、その痛みを耐えながら、メンバーと一緒に歩きました。僕が、「足が痛い。」と言ったら、メンバーの仲間が心配してくれて、僕はとても勇気づけられました。その後で、みんなでものまねをしました。祐丹くんのものまねが特に面白かったです。

歩いていくうちに、足の痛みがどんどんつらくなっていきました。それで、僕たちはその痛さが吹っ飛ぶくらいに歌を歌いました。大きい声を出しすぎたせいか、のども痛くなり大変でした。今回は、去年よりも2時間も早く着くことができました。ちゃんと去年の反省を踏まえて歩くことができたのでよかったです。来年は最後なので、最高の思い出をつくりたいです。



昨年までより楽しく感じた最後のウォークラリー 3年女子N

今年のウォークラリーは昨年までのコースが変更となり、田んぼ道だけというコースが少なかったのが、より楽しく感じました。

スタート地点付近にはサルが5・6匹いて、かわいくて、さわりたかったです。班のみんなと怖い話をしたり、楽しい話をしながら歩き、「あと18キロもあるね。」とか会話をしながら歩いてとても楽しかったです。22キロの半分くらいまで来てもあまり疲れませんでした。でも、お昼ご飯を食べ終わると立ち上がりたくありませんでした。昼食後に歩き始めると、前後に誰もいなくて、道を間違えたのかと思いました。その後、別なグループがうしろから来たので、負けないように頑張って歩きました。途中でいも虫と戦ったり、走ったり、歌ったりして、ゴールに着きました。去年よりも1時間くらい早くゴールできて嬉しかったです。来年はウォークラリーに参加できないんだと思うと悲しいです。



ウォークラリー三連覇達成！

3年男子Y

ぼくたち3年生1班は、ウォークラリー三連覇を達成しました。

1年生の時は、スタート直後に、鈴木伸先生から「少しだけ」と誘われ、ちょっとだけ走るつもりが、休み休みながら長い距離を走ったら、1位になりました。

2年生の時は、「1年生の頃ほど走らなくてもいいけど、少しくらいなら走ろう」と思って走ったら、1年生の時と同じくたくさん走ってしまい、なんと1年目よりも早くゴールできました。

そして、3年生の今年は、最初から走るつもりでウォークラリーに臨みました。天気は曇り、気温も涼しく、最高のコンディションでした。スタートと同時に、鈴木伸先生のところへ走り寄り、いざ出陣です。そして、なんと2年生の時よりも30分以上も早くゴールできました。

三連覇はこのメンバー（碧、巧弥、康生、ぼく）だからできたし、このメンバーじゃないとできなかったのもとても良いメンバーに恵まれた3年間のウォークラリーだったなと思いました。

これまでと違うコースを楽しめたウォークラリー 3年女子K

今年度はコースが変わって、滝谷森林公園からサイクリングロードを通り、西新発田駅から弓越へ行って学校までという道のりでした。一緒に歩いたメンバーは1年生の時と同じです。またこのメンバーで、これまで2年間と違うコースを歩いて良かったです。私は、サイクリングロードを歩くのがあまり好きじゃないなと思いました。それは、ずっと同じような景色の場所やずっと真っ直ぐな道を歩くことになりそうで、すぐ飽きちゃうと思ったからです。でも、今年は萌里さんのお父さんから塩あめを寄付していただいたお陰で、今までよりも塩あめの数と種類が多くなり、だいぶ歩きやすかったです。



でもやっぱり22キロは疲れました。私たちが決めていた目標到着時刻は3時30分だったけど、実際にゴールしたのは3時45分でした。学校がすぐそこに見えるのに、なかなか到着できず、到着した時刻が目標時刻よりも遅くなりとても悔しかったです。

疲れたし、いろいろなことがあったけど楽しかったです。いい思い出になりました。

